



職員定期表彰

○二級 精勤章 (九名)	基 片岡 孝幸	技 大川 耕一	技 馬門 辰美	技 梶原 哲也	技 福元 忍
	事 西山 扶美	高知中部署 安芸署		愛媛署 四万十署	
	事 事 齋藤 山本 充治	事 事 東野 浜口 和也	事 基 萩野 伸二	事 吉田 小松 由美	技 山崎 賀文



ノコギリ（平田小学校）

森林の動物たちが自分たちで手入れをし、やがて人間も加わり美しい森に

は、戦後植えられた人工林が、手入れ不足のため下草が生えなくなったり、土砂崩れが起

たり、こつたりして動物が住みにくくなつた山を、子グマと

木工ボンドで貼りあわせたり、ポスカで着色したりする簡単な作業ですが、それぞれに趣向を凝らした作品を仕上げ、互いに見せ合つていました。

五月二十四日と六月一四日の両日、高知県宿毛市立山奈小学校と平田小学校

紙芝居の内容は、戦後植えられた人工林が、手入

木工クラフトは、ヤマザクラなどの枝の輪切りを貼りあわせて作る「クマのス

木工クラフト

校の一・二年の児童が木工クラフトの製作を行いました。

児童は、紙芝居にじっと見入り、森林や林業について理解を深めてくれたよう

## 各地のたより



再生させるというもので、森林の持つ機能や現在の森林・林業が抱える問題をわかりやすく学習できます。



## 森林の学習

### ふれあいセンター

愛媛県松野町立松野西小学校の四年生は、毎年度「総合的な学習の時間」を利用して森林や樹木の学習をしています。

今年度も六月一日、六日、二〇日に「校庭の樹木」「空飛ぶ種子」「木工クラフト」を行いました。

#### この木なんの木

では、育林作業で伐採した木の枝を使つてストラップやカブトムシなど思い思いの作品を作りました。あまり使う機会

ペーパーで種子の模型を作つて飛ばしたりしました。

#### 「木工クラフト」

では、育林作業で伐採した木の枝を使つてストラップやカブトムシなど思い思いの作品を作りました。あまり使う機会

山」「森林の土壤と生物」「炭」について学習する予定です。

「空飛ぶ種子」では、樹木や草花が様々な方法で種子を散布することを学習し、実際にマツやカエデの種子が風を受けてくるくる回つて飛ぶ様子を観察した

り、色紙やスチレンペーパーで種子の模型を作つて飛ばしたりしました。

## 松野東小学校で 森林教室

### ふれあいセンター

六月二六日、愛媛県北宇和郡松野町立松野東小学校の五、六年生一七名を対象に、「土壤に住む生物」と「炭素現存量」について森林教室を開催しました。

では、育林作業で伐採した木の枝を使つてストラップやカブトムシなど思い思いの作品を作りました。あまり使う機会

では、一ヶ月前に埋めておいた「野菜」「枯葉」「ペットボトル」がどのように変化したかを観察しました。児童が注目する中、埋設箇所を掘り返すと「野菜」は跡形もなくなるほど分解されていましたのに対し、「枯葉」は分解中、「ペットボトル」は全く変化していないこと



樹木の働き（葉っぱと太陽に扮した児童）

ます、「土壤に住む生物」は、二酸化炭素を貯蔵するしくみの学習で図鑑で調べていました。また、樹木が二酸化炭素を貯蔵することを葉っぱと太陽に驚いた様子で、「土壤に住む生物」の働きに感心しました。

するとともに、土に返らないプラスチック類を放置することは環境破壊につながることを学んでくれたようでした。

のないノコギリやクラフトナイフに四苦八苦しながらも、お気に入りの一品を作り上げました。

二学期には「八面山登



ナイトに四苦八苦しながらも、お気に入りの一品を作り上げました。

ナイトに四苦八苦しながらも、お気に入りの一品を作り上げました。



登山の注意を表示してあります。また、里程標も木製で、「ホラ貝の滝」までの距離が二・六kmあるため、その中間地點及び県有林との境界付近に設置しました。

当日は、朝まで激しい雷雨があり、実施が危ぶまれましたが、当署から署長、

県南部県民局やNPO剣山クラブの方々など、一六名で作業に当りました。剣山スーパー林道沿いの登山口から、表示板等を交代しながら担ぎ上げ、手分けして登山道沿いに表示板等を

設置しました。

近年、中高年を主体に登  
者も現地を訪れます

山者が増加しており、当署でも登山者の安全確保のために登山道の整備等に努めているところですが、今後ともこのような取組みにも積極的に参画し、「国民の森林」としての国有林のP

Rに努めていきたいと考えています。

# 「遊々の森」で森林教室

六月二三日、香川県高松市屋島国有林の「遊々の森」において、屋島東小学  
校三年生児童一四名、四年生児童二二名（計四六名）  
を対象とした森林教室を実施しました。

今回は、三年生には下草刈り、遊具遊び、樹木観察



## ブランコで遊ぶ様子

## が植えたクヌギ林

森の土の働きを説明すると納得した様子でした。

い  
ま  
す

体験を機に、児童たちが森林について自分の考えや気持ちを表現できるひとつ

んで運動場の土は

た。

対して、遊々の森の  
つくりと通す様子に  
児童たちは、「な  
ランコ」ということで、児童  
たちは森の風を感じながら  
元気いっぱい遊んでいまし

土のかの漫遊具合の  
験を行いました。運  
した。学校のブランコと違  
い、自然の中での手作りブ

最後に、遊々の森に設置

話し合いながら、木や違いについて学びおそる行つていましたが、最後にはきれいに下草を刈

、樹木の写真と木を  
ながら、「これは落  
よね？」などと友達  
児童もいて、最初はおそる  
たり鎌を使うのが初体験の  
での下草刈りは、藪に入つ